

会報

SHINSHIYOU



# 神私幼

平成21年3月1日

第167号

(昭和29年7月10日創刊)

発行：(社)神奈川県私立幼稚園連合会  
 発行人：会長 渡邊 眞一  
 編集人：神私幼総務部(広報室)  
 発行：年4回(6月・9月・12月・3月)  
 発行部数：1700部

<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0011 神奈川県横浜市神奈川区神之木台22-14 県青少年課神之木台分館内  
 TEL. 045 (430) 3102 FAX. 045 (430) 3103



## 平成20年度幼稚園教育経営研修会開催



県連合会 会長

### 渡邊眞一

念願の県連旗が出来上がりました。三月の総会の折に、各協会長の先生に贈呈させていただきました。今後は、各地区大会等でご活用いただきたいと思っております。六十周年のまとめとお礼を込めての県連旗です。さて、平成二十年度は、県連史のなかで大きな節目の一年でありました。内容の濃い記念誌がまとまりました。

した。大会当日は、渡辺貞夫さんと百人の先生のコーラス、そして、会場の先生方が一つになつての素晴らしいハーモニーは、思い出に残る時間でした。加えて六十周年の記念事業として幼稚園会館の取得が決定し、この秋(十一月頃)には完成の予定です。この会報が届くころには、建築工事が着々と進行しているかと思ひます。一方、昨年の十二月一日からは公益法人制度改革に伴ない、社団法人格が「特例民法法人」にかわりました。今後五年の間に、当県連は公益社団、一般社団、法人格をもたない組織のいずれかの選択をしなければなりません。先輩から受け継いだ県連を次世代の後輩にバトンリレーをするには実に重い課題ですが、しっかりと精査し、悔いを残さないよう英知を結集した方向を定めたいと強く念じます。

ところで、二十一年度は幼稚園会館の完成に伴ない、会館の運営方法の検討が求められます。特に事務局体制の見直し、更には、永続性が確保できる連合会組織体制の見直しは緊急の課題です。時代の変化に速やかに対応できる県連力づくりです。秋には、横浜市幼稚園協会、県私立幼稚園退職基金財団と一緒にあります。三団体が協調できる環境づくりも必要です。ともあれ幼稚園会館が幼稚園団体の殿堂として十分に機能し、県内唯一の責任団体としての役割が果たせる会館づくりをめざしたいと考えます。永年の夢が実現する今こそ、足元をしっかりと見つけ、地固めがしっかりとできる、会員相互のそして協会相互の結束をもって、この困難な時を乗り越えたいものです。

協会長の先生、そして理事の先生、各部の先生、そして各会員園の先生、副会長の先生方皆様にこの一年のお礼を申し上げて結びとします。

# 私の責務

## 副会長として今年度を振り返って

加盟園数五八四園を誇る神私幼。六〇年の歴史を経て確実に今を見据え、今後更に多様化する諸問題に対し、連合会として最善の対応を導いていかなければなりません。県内五地区から選出された副会長5名の先生方に、それぞれの担当活動を通して、この一年を総括していただきました。

### 将来を見据えて大きな展望を

いま新しい幼稚園会館（仮称）の建設に向けて、役員の大きな理解と協力のもと、作業が進行中である。単なる事務所の移転ではなく、県内の幼稚園教育の拠点となるべく、様々な新たな事業展開も視野に入れて、将来の発展と振興を図っていきたくと考えている。それは会長以下役員の夢でもあり、これまでの県連を担ってこられた先達の方々の願いでもあったと思う。現在の役員の一ひとりとして、また行政や議会等へ

### 必要なテーマを確実に

県連合会副会長に就任して二期目も後一年となりました。一期目は渡邊会長を支えるどころか足を引っ張らないようにするのが、精一杯だったような気がいたします。さすがに二期目は少し余裕ができましたが、まだまだ努力が必要だと実感しております。連合会では特に会館取得では大きな前進をみることができましたが、法人制度改革に関してはこれからが大変な時期になるだろうと予測されます。これからの一年が勝負の分かれ道になります。

さて、一〇二条園プロジェクト委員会も委員長 森研四郎先生、副委員長 溝淵真澄

### 横浜通いの日々を振り返る

平成二十年三月の総会で、県連副会長に選出された。それからは、まさに日程に追われる日々となった。平均すると週に二回は横浜駅周辺で行われる様々な会議に出席をすることとなった。

### 六〇年目の節目を迎えて

県連合会の副会長には、横浜、川崎、鎌倉、湘南、県央の五地区から選出の五名が、渡邊 眞一会長を補佐し、会の運営に当たっています。それまでは、人任せでした。湘南地区は、四協会長の互選で順番制です。藤沢、茅ヶ崎、湘央、小田原の海に面した気温暖やかな自然豊かな環境の中で、それぞれの協会色を十分に生かして、幼児教育に当たっています。地区からの副会長として、

### 父母の会連合会の活動について

県連の副会長の役に就いてから早や、一年を経過した。この間、数え上げたら限の無いほどの多忙さに驚きを隠せなかったと同時に、役員の皆様の頑張りにほとほと感服した。本稿ではそのすべてについて記載する字数はないので、私の担当（振興部・父母連）分野についてのみの報告とする。

### ■神奈川県父母の会連合会

- ①平成二十年委員総会 平成二十年六月二十日
- (1)平成十九年度事業報告並びに決算報告及び平成二十年事業計画並びに予算案の承認
- (2)平成二十年役員選出及び平成二十年度父母の会連合会の研修大会の要綱の提案・承認
- (3)感謝状の贈呈・渡邊会長より平成十九年度常任委員へ感謝状の贈呈がされた。
- ②常任委員会 平成二十年九月十六日
- ③常任委員会 平成二十年十月十四日
- (1)父母連研修大会の役割分担について
- (2)第二十三回全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会

の働きかけなど、蔭の部分で振興連盟が役立つのであれば幸いです。

派遣切りの話題が目立つ昨今、耳に残ったテレビニュースがある。こんな時期にと、求人積極的に言う企業があり、応募したひとりの若者の言葉。「これからの仕事は」と問うレポーターに「スキルを磨いて、社会に役立つことができるよう、将来の国づくりにかかわれるようにがんばります」少々たどたどしいが、上手な日本語で話す、東

- 先生を中心として活動しておりますが、昨年十二月一日に一〇二条園研修会「相続税非課税制度について 必ず来る相続」をテーマとして、公認会計士の柏谷道正先生を講師としてお招き致しました。今回は個人立幼稚園研修に絞りましたが、柏谷先生の知名度が高いためか学校法人立・宗教法人立の先生方の姿もみられました。以前、一〇二条園プロジェクト委員会でアンケート調査をしたところ、
- ①相続税非課税制度について
- ②家事充当金の限度額について
- ③教育用財産の届け出について

帳が埋めつくされていった。私の能力では、とても全てを完璧にこなすことは出来なかった。

地元の協会長としても、協会の運営にかかわることは勿論、様々な役職をこなさなければならず、会議が重なる場合は心苦しくとも地元の会議を優先させて頂いた。幸い県連には他に四名の有能な副会長の先生がおり、何かと助けて頂いた。

振り返れば、六〇周年記念大会も大成功

地域の情報を絶えず把握して、臨まねばならない事を、肝に銘じて居りますが、現実には、難しいのが現実です。

二十年度は、第四十八回教育（全県）大会と、連合会設立六〇周年記念大会が、県下十二協会の教職員四千余名が参加して、盛夏、七月三十一日にパシフィコ横浜で、盛大に開催出来たことは、全県下の協会員を喜ばせ、準備の担当の先生

国大会参加の件について（神奈川県担当は参議院議員案内誘導係十名決定）

- ④平成二十年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会研修大会
  - (1)開会式：井関みゆき父母連会長、渡邊眞一県連会長、松澤成文神奈川県知事、榎本与助県議会議長の挨拶の後、井関会長より宣言案が読み上げられ満場の拍手のもと採択された。
  - (2)講演：「富士山から日本を変える」講師 野口健（アルビノスト）
  - (3)講演要旨：自分はアルビノスト、登山家であり、環境の専門家ではない。ゴミ拾いは好きでやっているのではない。やらなければならぬからやっている。冒険活動も環境活動も同じである。いかに追い詰められても諦めない。諦めた瞬間に終わってしまう。
- 全日本私立幼稚園PTA連合会常任委員会
- ①第二十三回全日本私立幼稚園PTA連合会常任委員会
  - ②第二十三回全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会実行委員会

南アジアからの留学生と思しき若者の姿がたくましかった。レポーターは「慣れない仕事は大変だと思います」程の答えを期待していたら、そのうろたえぶりが目についてしまった。そんな意識の差に、将来の、世界のなかの日本の姿を想像せざるを得ないのは私だけだろうか。目先の利益に捕らわれず、大きな展望を持って仕事に関わっていきたく思っている。

- ④所得税等納入について 等
- 平均一〇％以上の園で知らなかった。何もしていない、という答えが返ってきました。今回の調査結果を基にしてこの研修会を開催しましたが、大変有意義な研修となり、その後の懇親会でも活発な意見交換ができましたことをお伝え致します。
- また、最後になりましたが昨年、県に対しての予算要望では渡邊会長、山口振興部長から一〇二条園についても増額を強く要望された事も併せてご報告させて頂きます。（全日私幼連一〇二条園対策委員会 専門委員）

し、会館取得という県連の悲願も実現することとなった。加盟園の理解と協力のもと、渡邊会長の指導力で、多くの困難を乗り越えることが出来たと思う。

来年度以降取り組む課題は、新しい会館へのスムーズな移転である。事務局体制もしっかりと整えていく必要があるだろう。さらには公益法人問題にも取り組んでいかねばならない。任期中はまだまだ横浜通いが続くのであろうと覚悟している。

方の大変なご努力に、県連合会の底力を再確認し、大きな経験でした。六〇年の歴史の重みと、改めて職責の重みを深く思いました。

現在進行している、横浜駅東口の新私立幼稚園会館の建設も、本年十一月には完成され、今後は県下の幼児教育の一大拠点となり、益々発展に寄与する事を、夢見て居ります。

### ③第二十三回全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会

- (1)開会式：麻生内閣総理大臣、元総理森会長、文部科学大臣他多数の来賓による挨拶
- (2)講演：「親の品格、家庭の品格」講師 坂東眞理子（昭和女子大学学長）
- (3)講演要旨：丈夫な体を作る「子ども時代による生活習慣を身につけさせること。」
- (4)丈夫な心をつくる。：自分で経験をさせる。チャレンジング、小さな失敗、小さな挫折をさせ克服させること、小さな成功、人から感謝される経験が大切である。

これから必要とされる人材は、人と協力できる人、人を幸せにできる人、人を喜ばせたい、自分だけ金儲けしたいという人は決して幸せにはならない。小さくまとまらない、大きな志をもった子を育ててください。

県連合会事業

事業成果

我が部の実績と

事業発展の流れがどこかで途切れてしまうと、期待していた成果が十分に得ることができません。各事業は一連の流れの中で責任を持ってやりぬくことが大変重要と考えます。

20年度、各部会におかれましても、各事業を計画的且つ精力的に活動されてきたことと思います。

ここでは各部会の方々に活動を振り返っていただきました。皆様には是非、各部会の功績を感じていただき、次年度へ継承される際の糧にしていきたいと思います。



総務部

部長 丸山 征

会員の皆様のご協力ありがとうございました

六〇周年記念大会を特別委員会の皆様はじめ、会員の皆様の絶大なご支援があつて、恙(つが)無く開催する事が出来ました。心より感謝申し上げます。実行委員の皆様、お手伝い頂きました先生方のなみなみならぬご努力に、改めてお礼申し上げます。更に、六十周年にふさわしい記念誌を発行する事が出来ました。連合会の大切な事業を各部の協力のもと終了出来ました事を報告させていただきます。幼稚園会館については、十月七日に新しい会館の購入契約を結び、十一月一日に連合会所有の土地の売却契約を行いました。二十一年の十二月には、新しい会館へ移転できる予定になっています。井上久会館問題特別委員長をはじめ委員の皆様のご尽力によって、新しい会館の取得に向けて大きなハードルを越えました。ご期待下さい。公益法人制度問題は、県連として、最善の道を選択したいと考えています。

研究部



部長 亀ヶ谷 宏

新しい研究テーマ『心が響き合う幼稚園教育』がスタート!

演・対談を行い大会の成功に寄与しました。ここでは五年間の教育研究テーマ『心が響き合う幼稚園教育』の趣旨説明も行いました。研修俯瞰図に則った研修の組み立てと、その俯瞰図番号の付与も定着してきました。そして、研修ハンドブックが完成し使用が始まりました。スタンブを押す部員の作業も増えましたが、次第に持参する先生も多くなり、今後、研修を受けることへの意欲に繋がっていったらと思います。もちろん今年度も、県連研究部の大切な役割である、県下十二協会の研究、研修活動の支援や県連研究部独自の活動として研究特別委員会や統合保育研修会等も着実に進めてきました。平成二十年度も充実した研究部活動を締めくくることが出来ました。これも各園の園長先生はじめ先生方のご協力の賜と心より感謝申し上げます。

平成二十年度は、研究部にとって六〇周年記念大会を始め教育要領改訂、免許状更新新予備講習開催、ハンドブックの使用開始など特別の事業や大きな変化もあり緊張続きでしたが、それだけに大きなやりがいを感じた二十年度でした。五月には、教育要領伝達講習会に篠原孝子先生を招いて、他県に先駆けて行いました。六〇周年記念大会では研究部員も一丸となって齋藤孝氏の記念講演・対談を行い大会の成功に寄与しました。ここでは五年間の教育研究テーマ『心が響き合う幼稚園教育』の趣旨説明も行いました。研修俯瞰図に則った研修の組み立てと、その俯瞰図番号の付与も定着してきました。そして、研修ハンドブックが完成し使用が始まりました。スタンブを押す部員の作業も増えましたが、次第に持参する先生も多くなり、今後、研修を受けることへの意欲に繋がっていったらと思います。もちろん今年度も、県連研究部の大切な役割である、県下十二協会の研究、研修活動の支援や県連研究部独自の活動として研究特別委員会や統合保育研修会等も着実に進めてきました。平成二十年度も充実した研究部活動を締めくくることが出来ました。これも各園の園長先生はじめ先生方のご協力の賜と心より感謝申し上げます。

経営管理部



部長 金子 敏明

不安材料山積「情報の収集・共有の重要性」

海の向こうで発生したサブプライムローン問題の影響が日本国内にも波及しています。内定取り消しや派遣社員大量解雇が連日のように報道され、大企業のみならず、中小企業にも影響を及ぼしています。先行き不透明の経済状況の中、少子高齢化も進み、労働人口としての子育て中の母親の増加に保育園増加。幼稚園教諭への進路希望者の減少。幼稚園の順調な運営に不安材料が多くなっています。このような時期にこそ情報収集、研修を通してしっかりとした基盤作りをする必要があります。今年度の経営管理部は昨年までの事業を継承して行ってきました。人材確保に関しては、教員養成校の先生方に学生の就職動向並びに求人時期等のお話を伺い皆様に発信いたしました。後継者育成研修では、講演会とすでに園長となられている三名の後継園長先生のお話頂きました。一〇二条園プロジェクト委員会委員会は相続問題に関連したアンケート調査の実施及び研修会を行いました。今後、会員皆様のお役に立つよう取り組んでまいりますので是非ご参加をお願い致します。

振興部



部長 山口 繁美

平成21年度私学補助金の概要について

平成二十一年度県予算「私学振興費」の内容について、二月六日、県庁本庁舎において説明を受けた。県は来年度二〇〇〇億円の減収を見込む中、全学種の「私学振興費」は前年度比較九十八、九%であった。その中で、幼稚園に関する振興費は一〇〇、三%、他校種に比べても微々増となった。しかし、経常費の一般分は学法・非学法共に減額である。又、緊急通報システムの整備は申請園の減少から残り一年を残し、廃止更にチーム保育に関する支援も国の制度変更とはいえず、廃止となった。この結果は社会情勢から来る県財政の悪化が要因であるが、県連振興部の活動限界を如実に表したものである。今後、「幼教振」の活動を通し、よりサポートの強化を感じる。加盟各園設置者・園長の協力をお願いする。幼稚園関係補助金の内容については別表を参照いただき、貴重な補助金を有効に活用いただきたい。

財務部



部長 内藤 義幸

予算上の大きな動き「幼稚園会館建設事業」

今年度は、周年事業・会館建設事業、それに伴う所有地売却事業等と大きな財務に係わる事業が推進された。六〇周年では、各園より事業を行うための基金をご協力頂き、国立大ホールに五千名の先生方が参加のもと盛大に実施し、その目標を果たした。幼稚園会館(仮称)は、先人達の先生方々の長い間による取り組みを大事にした上で、横浜駅東口・横浜市住宅供給公社ビルに県下の幼児教育の拠点として、今年十一月の予定で完成を待つ事にし、既に契約を済ませた。会館問題特別委員会の皆様のご苦勞に感謝致します。土地の売却は、会館取得の財源で有り、再三に渡り売却先への検討を重ねた結果、「学法人」に売却する事が出来た。銀行等の借り入れや、会員の皆様にご負担をお願いする事なく事業が推進でき、ほっとしています。従って予算上大きな動きが有りましたので、一月の理事会に補正予算を提案し、承認をしたところです。今後は、年々園児数の減少が予想されますので、財務全般に渡り見直しをしていく必要が有ると思う。

次長 山田 静栄

一年を振り返り「新たな課題への対応」

私は財務部に所属し一年が経とうとしています。数字に弱い私に何故かと思いつつも、受けてしまひ今日にいたっております。この一年予算が具体的に動き始め進行するにあたりその背景にあるものが姿を見せ形としてそれが数字として現れてくる、目に見えない部分ではボランティア的な場面もあり関係者の方々のご苦勞が一つの事業として残され次へと継承されてゆく。平成二十年度は多岐に渡り事柄が山積した。認定こども園に関する事柄については、今後対応策をおこなっていくことと思う。教諭の免許更新制について平成二十一年より開始されるため今年度はその対応策について多くのとりくみがなされた。人材確保の養成校との交流等も幼稚園を希望する学生が少なくなっている為、県連としていかに幼稚園としての存在を高め雇用の問題、受け入れ側の環境と心がまえを考えていかなければならない等、課題は多く残された。後継者の育成はどの園にとつても、必要不可欠な課題でありこれからの時代の担い手として活躍していけるよう研修・交流が行われた今後も大きな課題として続いていくことと思われる。研究部では教諭の資質向上のため多面的に研修会やかづ多くの研究活動が行われている。その他にも多くの活動がなされている。限られた収入の中で、限られた予算での活動はたいへんなことだと思います。このような事が長きに渡り受け継がれよりよい県連の姿としての功績とそれを一歩一歩の歩みとして継承していかなくてはならないと思います。皆様方のご協力とご努力の賜物と感謝いたします。有り難うございました。

Table with 4 columns: 事業, 平成21年度, 増減, 幼稚園関係摘要. It lists various activities like '幼稚園経常費', '預かり保育', '地域開放', etc., with their respective budget changes.

神奈川県私立幼稚園連合会加盟園の中に二〇・二%の幼稚園が一〇二条園である。渡邊会長のもとに、平成十九年度から一〇二条園独自の研修を始めた。昨年度は「一〇二条園に対する県の対応と補助金の仕組み」を学んだ。これは個人立、宗教法人立両方に関わる研修会であった。二年度度は、個人立幼稚園が避けて通れない相続税についての問題を扱い、柏谷道正先生をお迎えした。

### 102条園研修会 相続税非課税制度について 必ず来る相続税

平成20年12月1日(月)16:00~20:00  
横浜エクセルホテル東急グランドホール



102条園プロジェクト委員会委員長  
森 研四郎

平成二十年四月一日現在、神奈川県私立幼稚園連合会の会員数を見ると、学校法人四六五園、一〇二条園一八園(宗法六十園、個人五十八園)、その他一園、合計五八四園。この内、研修に二十五名が参加。個人立幼稚園の三分の一であった。諸行事と重なってやむを得ず参加できなかった園もあった。

今後、より多くの園が参加できるように計画を立てたい。直接、この問題には無関係な宗法立幼稚園からも五名の参加があり、この研修会を一〇二条園全体のこととして受けとめご参加くださり感謝である。

## 12 協会通信

県下全12協会  
加盟園数 584園



### 鎌倉私立幼稚園協会

#### 鎌倉の幼稚園全体の心の成長を願って 本物を楽しむ

鎌倉私立幼稚園協会では、加盟各園の園児・保護者と教職員の感性と教養を深め心豊かな成長を願い、協会主催で「年長音楽鑑賞会」「親子観劇会」「教職員研修会」など様々なイベントを開催しています。その中の「親子観劇会」と「年長音楽鑑賞会」について紹介させていただきます。

「親子観劇会」は毎年子ども達になじみのある劇団のお芝居を親子で楽しむ行事です。加盟園の園児数は約3,000人。園によって全員参加と希望者のみ参加とがありますが、鎌倉芸術館の大ホールで4回講演を行うほどの大規模なイベントなのです。園長会において開催時期、劇団や演目について話し合いをし、子ども達にとってどのようなお芝居が良いのか検討を重ねています。幼児向けのお芝居と聞くと大きな頭のぬいぐるみを着たマスクプレイが一般的ですが、縁あって普通のお芝居で実績のある「劇団東少」にお願いしています。定期的に東京の三越劇場などの由緒ある会場をはじめ多くの地方講演を毎年開催している劇団です。ですから親子観劇会に対する期待は多大なものがああり、1,500席ある大ホールで、ほぼ満席の大盛況となります。今まで「アルプスの少女ハイジ」「マッチ売りの少女」「三びきのこぶた」「白雪姫」な

どを観劇してきました。

オーケストラの音楽を聴く「音楽鑑賞会」は年長園児を対象にしたものです。幼児向けのクラシックコンサートは最近少しずつ増えてきたようですが、鎌倉ではもう20年近く前から地元の鎌倉交響楽団のご協力を実現しています。今年度も年長園児約1,200名と保護者、教員、総勢約3,000名が3部に分かれて素晴らしい音楽を聴きました。

いつも子ども達のためにわかりやすいお話をしてくださる永井邦子さんの司会で、弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器のそれぞれの個性特徴や、曲目の解説をまじえて、子ども達でもどこかで必ず耳にしたことのある名曲の演奏を聴きながら、すばらしい生の音の中にその身をゆだねたひと時です。大きなホールで、指揮者の指示にあわせ、大人数の演奏者の心がひとつになり、それぞれの個性の違う楽器たちがひとつのハーモニーを作り出し、ある子どもは美しい音色にじっと聴き入り、またある子は、曲に合わせて体を動かしたり、指揮者の独特な動きを真似したりと、それぞれの楽しみ方があったようです。繊細な音、迫力ある音、デリケートな音の流れが素直な心を持った子ども達の感性に響き、人生の一ページに貴重な体験として刻まれたことと思います。

鎌倉交響楽団の皆さんは、それぞれの立場から鎌倉の幼稚園の子ども達のために心を込めて毎年のこの日のために練習を積んでいらっしゃいます。その心もまた、オーケストラの奏でるハーモニーに通じるものがあるのだと以前楽団の方からお伺いしたことがあります。演奏する者の思い、教諭の思い、保護者の思いが子どもの感性と共鳴し、これからもこのすばらしい企画が更に発展して行けば幸いです。今後も、鎌倉の皆さんと園長会とで曲目、構成など様々に計画を立てながら開催し続けていきたいと思っています。

鎌倉私立幼稚園協会 石井 秀卓 (ひがし幼稚園)

### 小田原私立幼稚園協会



## 祝 小田原私立幼稚園協会60周年記念

小田原幼稚園協会では、平成21年2月4日(水)に小田原市民会館大ホールで、第4回小田原私立幼稚園大会(5年ごとの開催)を行いました。

大会は、小田原私立幼稚園協会設立60周年の記念大会となり、加盟園の教職員・園児・保護者の参加を得て、1000人収容のホールはほぼ満席でした。

来賓として、市長・教育長をはじめ、県連各協会の代表者の皆様方もお忙しいなかをおいでいただき大会に一段の華を添えていただきました。県西の小さな協会に、県連の渡邊会長の力強いご挨拶をいただいたことも嬉しいことでした。

あきてしまう子どもたちには、クラウンに登場を願い集中力を呼び戻しながらの運営でした。父母の会の代表で「21世紀を担う子どもたちが、夢と希望をもち心豊かに健やかに育つ小田原を! 南足柄を! 湯河原を!」をテーマに大会宣言を採択して記念式典を閉じ、〈ミツル&りょうた〉のアトラクションで子どもたちのお楽しみ会としました。

ロビーには、創立大正5年・昭和5年・6年と続く各園の写真展示を行い、着物姿の先生や子どものようすをお見せしました。

60周年の記念大会を迎える今日まで、営々として続く小田原地区の幼稚園は、厳しい時代にも決然として子どもたちと過ごしてきた静かな深い誇りを持ち続けています。

先輩の諸先生方が築いてきた歴史を振り返り、感謝し、午後は研究部の一年間の活動報告と湘南鎌倉総合病院 副院長の小林修三先生の講演を伺い、無事にすべての日程を終了しました。

小田原協会副会長 石川 征子 (こゆるぎ幼稚園)



#### 大会プログラム

- 開会
- 記念式典
- 主催者挨拶
- 神奈川県私立幼稚園連合会会長挨拶
- 永年勤続者表彰
- 来賓祝辞
- 父母の会代表祝辞
- 来賓紹介
- 謝辞
- 幼稚園讃歌斉唱
- …… 幕 ……
- 大会宣言
- 愛の花輪 斉唱
- …… 休憩 ……
- アトラクション《ミツル&りょうた》コンサート
- ＊みんなであたいましよう (3曲)
- 子どもの司会とあそび《クラウン ヒロ》
- 閉会 (挨拶・副協会長)



### 「新採用教職員不足について」の考察

ここ数年、経営管理部では 新採用教員の動向を知るために、各養成校に依頼して担当者のお話を伺う研修会を行ってきた。それを大雑把にまとめてしまえば、主体性、責任感、知識、判断力、生活経験、等々の欠如が言われて久しいが、要は大人として育ち切れていない学生が増えてきているのである。とはいえ彼、彼女たちをけなす前に、それらの新人を確保するなら、結局は働く環境の改善に取り組み、気長に育てる以外に無い。

一方で我々の努力が届かない制度改革も大きく立ちはだかっている。そう、認定子ども園を象徴的にした、保育所の増加である。聞くところによれば横浜はここ数年で100ヶ所の保育所の増加、推定で2000人程度の保育者を採用していることになる。もうちょっと確実なデータとしては、平成20年4月1日現在の対前年度比100名以上の保育所収容者の増加自治体は全国で50市区合計10679名、そのうち6市が横浜、川崎、相模原、藤沢、横須賀、それらの合計は、2019名の乳幼児となる(以上厚労省HPより)。これらに関わる正確な保育者増加数のデータは不明だが、例年にプラスして200名前後の保育者がこの一年間でこの県内6市に所在する保育所に採用増されたことと推定できる。(20年4月の神私幼加盟園の新卒採用は1082名)

つまり、認定子ども園の制度の是非以前に新卒者が保育所に流れ、また免許制度の10年期限付きで、教員免許よりも保育士資格という流れも予想できる。とにかく新卒の絶対数の不足である。

私個人は、幼稚園の教諭がいなくなる制度改革

に疑問を持つのだが、このような制度改革に反対するなら、「データを示せ」と言う人もいるらしい。学者や研究者を納得させるデータが必要というわけだ。確かにデータに基づいて、制度改革を行うのは当たり前の話と思うが、制度改革を考えている各委員! 普通に考えれば専門家集団の委員が、どのようなデータでどれだけ正確なデータに基づいて制度を考えているのかが見えない。そもそもデータの収集、分析は学者、研究者、それと国の委嘱を受けた各委員の役割であって、現場の役割ではない。現場は声しか出せないである。その声不満か不平か愚痴か文学かは問題ではなく、声しか出せないのであり、その声を聞くのが為政者の役割なのではなかったかな。古今東西、名君主は民の声を聞いてきたのではないかな。現代の子育て関連施策に置き換えれば、文科省や厚労省、それが作った諮問機関が君主の替わりなのだけれど、自分たちがどれだけデータに基づいた制度を考えていたのか、またデータの確度を振り返りもせずに、民だけに「データを示せ」というのは、あきれるばかり。農民は米の栽培に忙しいのに、「来年から麦にする、それに反対なら全国の米粒を正確に数えてこい」と言われるようなものだ、と憤るのは私だけかな。

経営管理部次長  
山本 安雄

(相和 鈴鹿幼稚園 園長)



研修会報告

開催日	研修名	会場	講師	テーマ	参加者数
平成20年	11月26日(水)	第2回後継者研修会	横浜エクセルホテル東急 (バズ形式)	「語り合おう 自分の仕事、自分の役割」	39人
	12月1日(月)	102条園研修会	横浜エクセルホテル東急 公認会計士・税理士・行政書士 柏谷 道正 先生	「相続税非課税制度について」【必ず来る相続】	32人
平成21年	1月15日(木)	いじめ問題講習会	かながわ県民センター 聖徳大学教授 塩 美佐枝 先生	「幼児期の道徳性の育成」	60人
	1月31日(土)	教育経営研修会	鎌倉女子大学 小泉 裕子 先生	「Let's幼小連携」 ～そこから見えてくる幼稚園教育の意義～	103人
			文部科学省高等教育局大学振興課長 義本 博司 先生	これからの幼児教育に望むこと	
神私幼振興部長 山口 繁美 先生			幼稚園における学校評価ステップ1		

編集 後記

昨年小学5年生と、中学2年生を対象に行われた全国体力テストの結果、体育の授業以外の運動量が1週間で60分未満の子ども達が全体の2割であった。都心に近づくにつれて、戸外での遊ぶ環境が少なくなっている。また、朝ごはんを食べよく寝る子と、食べないで寝ない子でも結果に差が出ている。食べること、体を動かすことなど、我々が未来を担う健康な子ども達を育てていくためにできることを、今一度見直す時期に来ているのではないだろうか。

川戸 俊一郎 (東俣野幼稚園)

後継者育成研修会開催される

田中 貴章(横須賀・うわまち幼稚園)

平成20年11月26日、後継者育成研修会が横浜エクセルホテル東急3階のグランドホールにて開催されました。「語り合おう 自分の仕事、自分の役割」をテーマに、今回は峰岡幼稚園の西山俊太郎先生と横須賀幼稚園の鈴木豊司先生とひばりが丘幼稚園の三原信之先生、御三方に事例にもとづく問題提起をしていただきました。各先生方の発表では、自園で

の様々な体験や思いをお話しいただき、多くの参加者が共感できる事例や実践的な事例など幅ひろいお話を聴くことができました。今年度2度目の後継者研修会でしたが、この研修会の関心が高かった模様で、多くの次世代を担う先生方にご参加いただき、懇親会も次世代の人間関係を広げるいい機会になりました。

幼稚園教育経営研修会開催される

田中 貴章(横須賀・うわまち幼稚園)

平成21年1月31日、幼稚園教育経営研修会が横浜エクセルホテル東急3階のグランドホールにて開催されました。「改めて子どもを原点に見据えての連携・改革を考える」を研究主題に、研究部講座は「Let's幼小連携～そこから見えてくる幼稚園教育の意義」をテーマに、鎌倉女子大学准教授の小泉裕子先生にお越しいただきご講義いただきました。続きまして、経営管理部の講座は「これからの幼児教育に望むこと」をテーマに、文部科学省・大学振興課課長の義本博司先生にお越しいただきご講義いただきました。続きま

して、振興部長の山口繁美先生より、「幼稚園における学校評価」の説明をいただきました。この研修会を通じて各園におかれましても、急速に変わりつつある幼稚園や子どもを取り巻く状況を学ぶことが出来て、幼稚園経営の今後を見直しいい機会になったことと思います。幼児教育の充実につながる大変有意義な研修会でした。



平成20年度神奈川県連加盟園数

協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
横浜	266	55,849	55,849	0
川崎	81	22,269	22,281	- 12
横須賀	27	5,421	5,454	- 33
藤沢	31	6,062	5,965	+ 97
鎌倉	22	3,316	3,320	- 4
茅ヶ崎	18	3,661	3,549	+112
湘央	39	6,921	6,905	+ 16
小田原	12	1,445	1,472	- 27
相和	27	5,351	5,307	+ 44
相模原	34	7,970	7,972	- 2
逗葉	7	960	957	+ 3
厚木	20	3,345	3,457	-112
計	584	122,570	122,488	+ 82

県連設立 1948年(昭和23年)

発行

社団法人神奈川県私立幼稚園連合会  
〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台22-14  
県青少年課神之木台分館内  
TEL. 045-430-3102 FAX. 045-430-3103

印刷

(有)石黒印刷  
〒232-0056 横浜市内南区通町3-50-1  
シティコープ弘明寺101号  
TEL. 045-713-0080 FAX. 045-713-0036

お知らせ

Information

事務局のフレッシュマンを紹介します。



奥田 雅之

幼児教育は疎いですが  
頑張ります。  
声援をお願いします。



山本 彰子

県連の円滑な機能発揮に  
頑張ります。  
よろしくお願いします。

事務局は変わります。皆様のご指導、ご助言をお願いします。